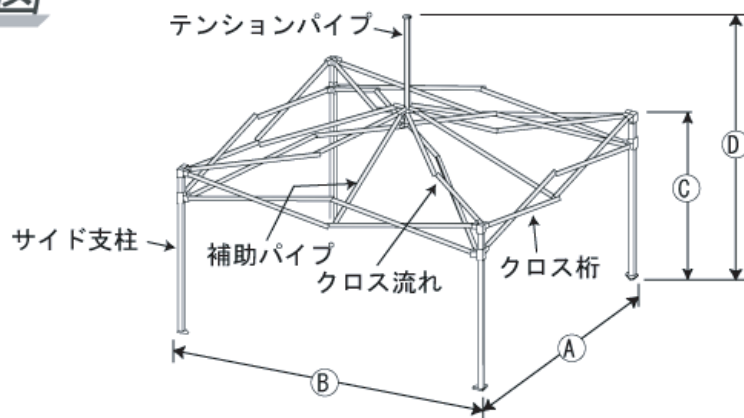


# 組立て説明書

## フレーム外観図

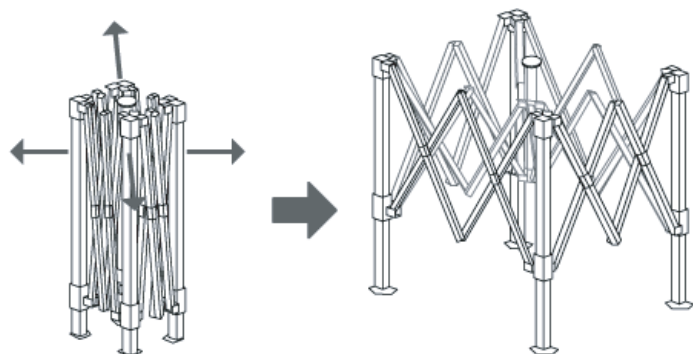
単棟用



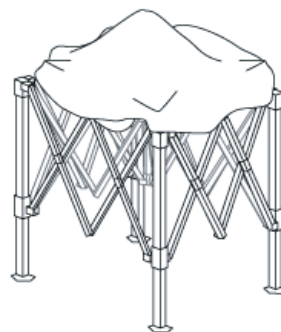
規格	広さ		奥行(A)	間口(B)	軒高(C)	棟高(D)	柱高さ調整	補助パイプ
	・	坪	m	m	m	m		
1. 8M×1.8M	3.24	1	1.8	1.8	2.0~2.3	2.7~3.2	4段階	なし
2. 4M×2.4M	5.76	1.8	2.4	2.4	2.0~2.3	3.0~3.3	4段階	あり
3. 0M×3.0M	9	2.8	3.0	3.0	2.0~2.5	3.2~3.5	6段階	あり

## テントの組立て順序

1 垂直に立ったフレームのサイド支柱を持ち、少し広げます。



2 天幕を被せます。



※天幕の中心部を確認し、被せます。ただし四隅には被せないで内側に天幕がくる様にして下さい。  
 ※撤収時には天幕をフレームから外し、きれいにたたんで保管してください。

3 対面でクロスしたフレーム（クロス桁）の下側（図1→）を持ち、上に持ち上げながら左右に広げていきます。



※図1

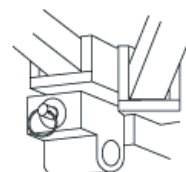
4 完全に開ききると支柱上部にロックがかかります。



※図2

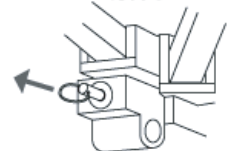
支柱の固定 (ピン式ロック)

ロック状態



※パチンと音がすればロックされます。

解除



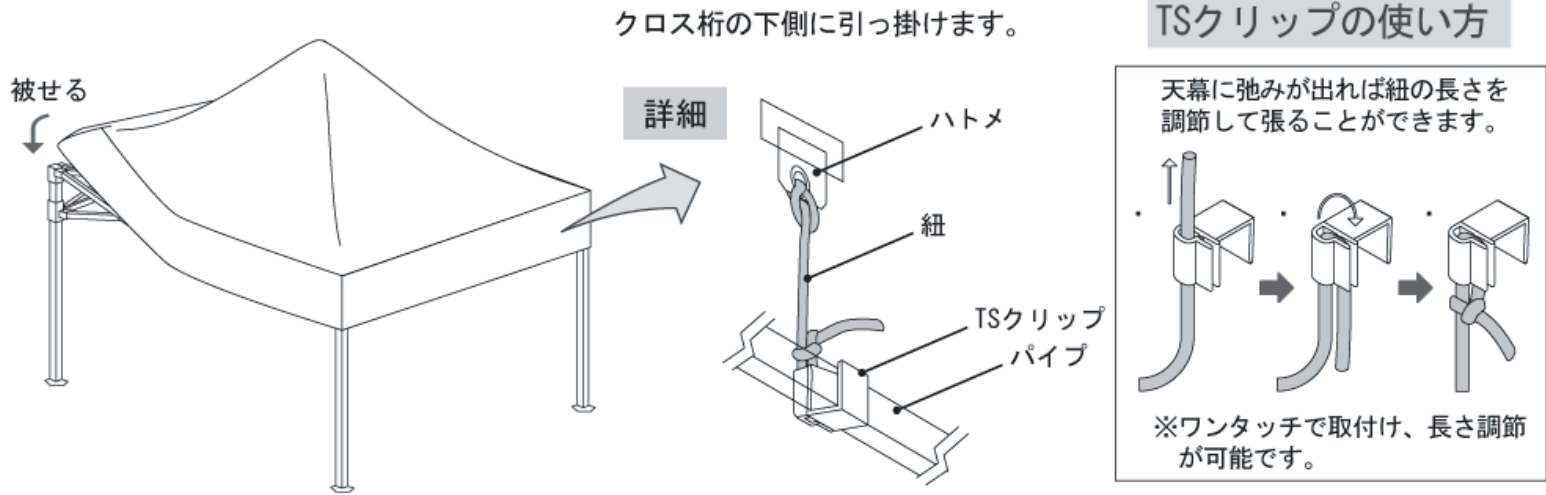
※リングを引っ張ります。

### 図2のポイント!

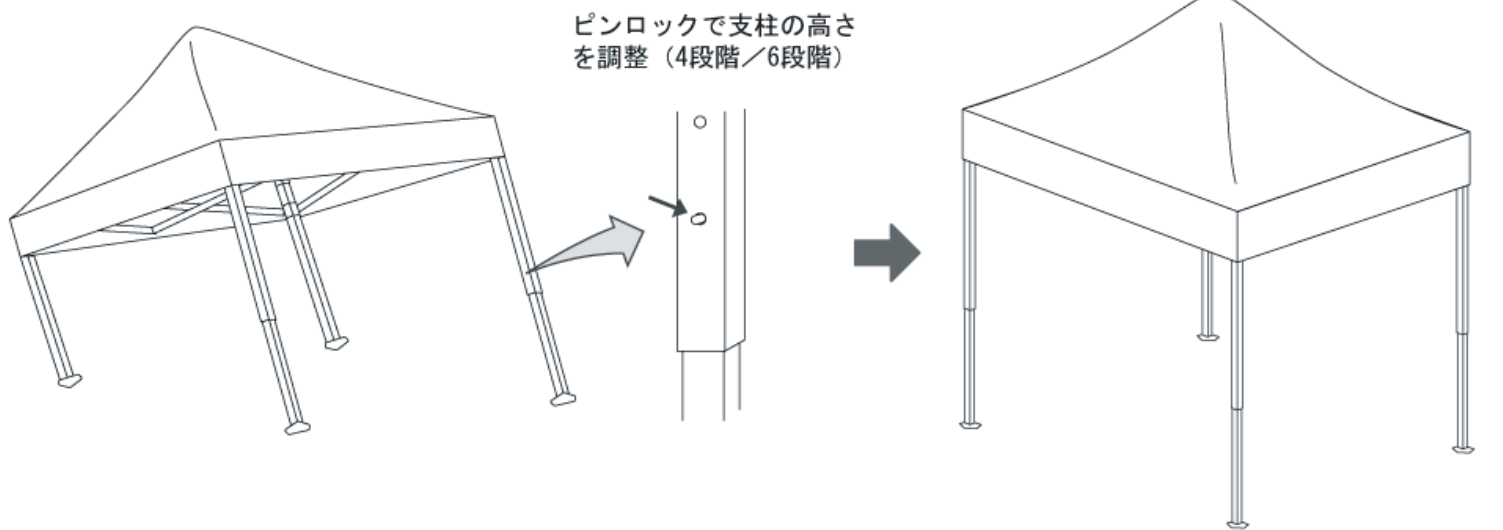
※クロス桁の下側を持ち上げる際に桁の上側を押さえると広げやすくなります。

※全ての支柱にロックがされているか必ず確認してください。

- 5 天幕を引っ張って四隅にきちんとかけ、内側からTSクリップをクロス桁に引っ掛けます。  
(1面に3ヶ所あります。)



- 6 支柱を片側ずつ伸ばし高さを調整します。



※立て上げたあとは安全の為、専用ウエイト、杭を打ち引き綱をとってください。  
※悪天候時でのご使用はお控え下さい。

## オプションについて (別売)

- ・専用カーゴ (フレームの持ち運び、ウエイトの持ち運びが手軽に行なえます。)
- ・ウエイト (杭が打てない所でも支柱に重しを置くことでテントを安定させます。)
- ・アンダーバー (テントの安定を増したい方に力を発揮します。)
- ・キャスター (テントの柱に取付けると、よりスムーズに開閉できます。またフレームの持ち運びにも利用できます。)
- ・キャリアバッグ (テントの骨組みを、簡単に収納し、持ち運びにも便利です。)
- ・ペグ、杭、ハンマー (テントを安定させるのに使用する工具です。)
- ・引きロープ (テントの引綱に使用します。)
- ・フックボルト (引き綱をする時に便利です。)
- ・看板 (天幕の文字がなくても簡単に看板の取り付け交換が行なえます。)
- ・雨トイ (テントを連棟した時に雨処理として取付けます。)
- ・メンテナンスツール (メンテナンスに使用する工具です。)